

せる故を以てするならばまた何とかなん、我等は思ふ、今日一個の労働団体
 は一ツの人格を有するものである、其の人格を無視蹂躪せしめらるゝならば
 我等は衷心より憂ふる、後世天下に恐るべき悪影響を及ぼし公道日
 本の前途を誤るべきやを、我等は事ここに至つては亦何をか言はん
 我等は茲に今日迄始終善処せんとしたる態度と行動を天下に
 聲明して静かに調停委員會の推後を監視する
 庶幾は親愛なる五百万市民諸君我等の態度を諒とせよ

右聲明す

昭和九年九月十七日

日本交通従業員組合本部

別記

親愛なる市電従業員諸君に檄す

親愛する市電従業員諸君！

我等の生活の根柢より破壊し我等を飢餓化窮乏のどん底に突き
 落し以て市電更生を計らんとした空前絶後の一大整理業に對し我
 日本交通従業員組合は間髪を容れざる一大英断を以て真先に罷業宣言
 を天下に聲明し辛辣なる烽火を當面の頭上に浴せた。
 一糸乱れざる魂の結合は期せずして鉄の如き結束となつた。大日本主義
 精神に基き正々堂々と帝都の中央に座して自由自在に活動し我等の
 勤は天下万人をして襟を正さしめを我等日本主義團體の奮起は遂に在野軍人諸
 子青年團體等をして中々不動の立場を嚴守せしめを社会の輿論は尙り如き拍手
 を我等に送つた我等が日本主義の立場から條理整然たる運動を進めたるは従つて
 当局の傳言は漸次後退し初め縦横無盡に疾ふ破邪顯正の刃は遂に當面として城
 下の壁を余儀なくからしむる迄に達した。
 当局の戦列は我等の戦意愈々強く燃えたる余力は尙計るべからざる持久力と
 不屈に至るや真に突せし傳家の采刀は抜かれて強制調停の發動を見る。我等
 は切齒扼腕奮然として天下の悪法を訴へんとす。
 誠法は且つ治安警察法第十七條を撤廃する交換條件として制定されたるものに
 用ふる事案は二回に及び我等は且つ昭和七年之が案布による苦杯は満杯せし
 められ現は二百数十万の一大削減と一十六百名の裁員を！然し又市債五千
 万圓の肩替りは如何、後年の四分六葉の負擔は如何、市電百年の大計なりと偽
 稱して我等を屈殺し終つた。我等はこの苦杯に敢然として抗争すべく更に強制

